



Level up your happiness



令和8年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和7年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス

コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員CEO（氏名） 鯉沼 久史

問合せ先責任者（役職名） 専務執行役員CFO（氏名） 浅野 健二郎（TEL）045-562-8111

半期報告書提出予定日 令和7年11月10日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 令和8年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（令和7年4月1日～令和7年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
令和8年3月期中間期	31,268	△11.2	7,964	△25.2	17,795	△15.3	13,465	△15.7
令和7年3月期中間期	35,197	△11.4	10,651	△23.1	21,000	△9.5	15,975	△4.9

（注）包括利益 令和8年3月期中間期 46,411百万円（256.4％） 令和7年3月期中間期 13,021百万円（△44.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
令和8年3月期中間期	42.61	42.57
令和7年3月期中間期	50.58	47.09

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
令和8年3月期中間期	314,239	248,726	78.9	742.58
令和7年3月期	209,828	189,421	89.9	596.95

（参考）自己資本 令和8年3月期中間期 248,085百万円 令和7年3月期 188,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和7年3月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
令和8年3月期	ー	0.00			
令和8年3月期（予想）			ー	43.00	43.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	92,000	10.6	31,000	△3.5	37,000	△26.0	27,000	△28.2
								83.07

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益は、令和7年9月17日を払込期日とする公募による自己株式の処分（14,740,000株）及び令和7年9月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分（3,260,000株）を反映した期中平均株式数を算定基礎としております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

令和8年3月期中間期	336,096,924株	令和7年3月期	336,096,924株
令和8年3月期中間期	2,010,014株	令和7年3月期	20,245,650株
令和8年3月期中間期	316,012,291株	令和7年3月期中間期	315,837,784株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和7年10月27日 (月) にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策の影響の広がり等により先行きが不透明な状態です。

このような経営環境下において、第4次中期経営計画の初年度となる当期は、中長期での飛躍に向けた「成長のための基盤づくり」をテーマとして各種施策に取り組んでいます。

9月に開催された「東京ゲームショウ2025」は過去最大の出展規模となる中、当社グループからも発売予定タイトルの新情報を発信しました。「日本ゲーム大賞2025」においては『真・三國無双 ORIGINS』が「年間作品部門」にて「優秀賞」を受賞しました。また、第3四半期以降に発売を予定している『仁王3』『ゼルダ無双 封印戦記』^(※1)が「フューチャー部門賞」を受賞するなど、今期的大型タイトルへの期待度が高まっています。

当中間期はリピート販売、既存の運営タイトルが中心となり、売上高、営業利益は前年同期を下回りました。営業外収支は金融市場の動向を注視しながら運用を行い、利益を計上しました。

これらの結果、売上高312億68百万円(前年同期比11.2%減)、営業利益79億64百万円(同25.2%減)、経常利益177億95百万円(同15.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益134億65百万円(同15.7%減)となり、売上高、利益ともに当中間期の期初予想を上回りました。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

エンタテインメント事業 売上高 285億3百万円 セグメント利益 77億47百万円

「シブサワ・コウ」ブランドでは、『三國志 覇道』が配信5周年を記念したキャンペーンを実施しました。また、戦略シミュレーションゲーム『キングダム 覇道』^(※2)は10月に配信を開始しました。

「ω-Force」ブランドでは、ハンティングアクション『WILD HEARTS S』を7月に発売しました。「真・三國無双」シリーズ25周年を記念し、『真・三國無双 ORIGINS』のNintendo Switch 2版(2026年1月発売予定)と『真・三國無双2 with 猛将伝 Remastered』(2026年3月発売予定。PS5、Nintendo Switch 2、Nintendo Switch、Xbox Series X|S、Windows(Steam)用)を発表しました。また、ポケモン初のスローライフ・サンドボックスゲーム『ぽこ あ ポケモン』^(※3)(2026年春発売予定。Nintendo Switch 2用)を発表しました。

「Team NINJA」ブランドでは、「仁王」シリーズの最新作『仁王3』の発売予定日(2026年2月6日)と、『零～紅い蝶～ REMAKE』(2026年初頭発売予定。PS5、Nintendo Switch 2、Xbox Series X|S、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ガスト」ブランドでは、『紅の錬金術士と白の守護者 ～レスレリアーナのアトリエ～』(PS5、PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)を9月に発売しました。『ライザのアトリエ』3部作に新規要素を追加した『ライザのアトリエ ～秘密トリロジー～ DX』(2025年11月発売予定。PS5、PS4、Nintendo Switch 2、Nintendo Switch、Windows(Steam)用)を発表しました。

「ルビーパーティー」ブランドでは、和風恋愛アドベンチャーゲーム「遙かなる時空の中で」シリーズの新作スマートフォンタイトル『遙かなる時空の中で 龍宮の神子』(今冬配信予定。iOS、Android用)を発表し、9月より事前登録の受付を開始しました。

「midas」ブランドでは、位置情報ゲーム『信長の野望 出陣』で2周年を記念したゲーム内キャンペーン等を実施しました。

「AAAスタジオ」では、『ゼルダ無双 封印戦記』の発売予定日(2025年11月6日)を発表しました。

IP事業においては、当社がIPを許諾したパッケージゲーム1タイトルが発売され、スマートフォンゲーム2タイトルがサービスを開始しました。『三國志・戦略版』(国内では『三國志 真戦』)は引き続き収益に寄与しました。

※1 『ゼルダ無双 封印戦記』の海外における発売元は任天堂株式会社です。

※2 『キングダム 覇道』の配信元は株式会社バンダイナムコエンターテインメントです。

※3 『ぽこ あ ポケモン』の発売元は株式会社ポケモンです。

※4 Nintendo Switch及びNintendo Switch 2 は任天堂株式会社の商標です。

アミューズメント事業 売上高 22億94百万円 セグメント利益 3億84百万円

アミューズメント施設では既存店売上高が好調に推移しました。スロット・パチンコでは液晶ソフト受託開発に取り組みました。

不動産事業 売上高 6億35百万円 セグメント利益 1億53百万円

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、引き続き高い稼働率となりました。

その他事業 売上高 1億77百万円 セグメント損失 3億20百万円

ベンチャーキャピタル事業において、ファンドの管理費用が先行して発生したために損失を計上しました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,044億10百万円増加し3,142億39百万円となりました。これは主に、投資有価証券が541億63百万円、現金及び預金が270億36百万円、土地が130億49百万円、建物及び構築物が72億22百万円それぞれ増加した一方で、売掛金及び契約資産が42億88百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して451億5百万円増加し655億12百万円となりました。これは主に、短期借入金が350億円、繰延税金負債が131億34百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が30億15百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して593億5百万円増加し2,487億26百万円となりました。これは主に、自己株式が339億93百万円減少し、その他有価証券評価差額金が324億7百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年4月30日に公表した令和8年3月期の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想数値に修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,034	51,070
売掛金及び契約資産	15,123	10,835
有価証券	20,454	26,487
商品及び製品	37	81
仕掛品	8	11
原材料及び貯蔵品	132	140
その他	1,696	3,775
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	61,484	92,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,079	27,302
土地	14,615	27,665
建設仮勘定	71	582
その他(純額)	1,742	1,896
有形固定資産合計	36,509	57,446
無形固定資産		
その他	187	165
無形固定資産合計	187	165
投資その他の資産		
投資有価証券	99,409	153,573
繰延税金資産	4,119	2,466
退職給付に係る資産	4,431	4,786
その他	3,685	3,400
投資その他の資産合計	111,646	164,226
固定資産合計	148,343	221,837
資産合計	209,828	314,239

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当中間連結会計期間 (令和7年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,238	1,090
短期借入金	-	35,000
未払金	3,798	5,064
未払法人税等	6,795	3,780
賞与引当金	2,047	1,976
役員賞与引当金	425	215
その他	4,610	3,840
流動負債合計	18,914	50,967
固定負債		
繰延税金負債	535	13,669
その他	957	875
固定負債合計	1,492	14,544
負債合計	20,407	65,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	27,435	25,699
利益剰余金	183,630	177,964
自己株式	△37,740	△3,746
株主資本合計	188,324	214,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,928	30,478
土地再評価差額金	△3,101	△3,101
為替換算調整勘定	4,583	5,157
退職給付に係る調整累計額	669	633
その他の包括利益累計額合計	222	33,168
新株予約権	873	640
純資産合計	189,421	248,726
負債純資産合計	209,828	314,239

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
売上高	35,197	31,268
売上原価	14,603	14,030
売上総利益	20,593	17,238
販売費及び一般管理費	9,941	9,273
営業利益	10,651	7,964
営業外収益		
受取利息	9,942	5,457
受取配当金	320	303
投資有価証券売却益	1,090	0
有価証券償還益	3,275	128
デリバティブ評価益	1,081	4,461
その他	129	358
営業外収益合計	15,840	10,709
営業外費用		
投資有価証券評価損	392	146
投資有価証券売却損	0	-
有価証券償還損	1,699	589
デリバティブ評価損	2,151	-
為替差損	1,054	11
その他	194	130
営業外費用合計	5,492	877
経常利益	21,000	17,795
税金等調整前中間純利益	21,000	17,795
法人税、住民税及び事業税	5,118	4,272
法人税等調整額	△92	58
法人税等合計	5,025	4,330
中間純利益	15,975	13,465
親会社株主に帰属する中間純利益	15,975	13,465

(中間連結包括利益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)
中間純利益	15,975	13,465
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,683	32,407
土地再評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	△219	574
退職給付に係る調整額	△51	△35
その他の包括利益合計	△2,953	32,945
中間包括利益	13,021	46,411
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	13,021	46,411

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和7年9月2日付の取締役会決議に基づき、令和7年9月17日を払込期日とする公募による自己株式の処分14,740,000株及びオーバーアロットメントによる売出に関連した令和7年9月30日を払込期日とする第三者割当による自己株式の処分3,260,000株を実施し、資本剰余金が1,836百万円、利益剰余金が179百万円、自己株式が33,554百万円それぞれ減少しております。なお、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値をその他利益剰余金から減額しております。

これらの結果などにより当中間連結会計期間末において資本剰余金が25,699百万円、利益剰余金が177,964百万円、自己株式が3,746百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前中間連結会計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,508	2,083	600	35,191	5	35,197
セグメント間の内部売上高又は振替高	253	0	-	253	148	402
計	32,761	2,083	600	35,445	153	35,599
セグメント利益又は損失(△)	10,371	252	145	10,769	△118	10,651

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,769
「その他」の区分の損失(△)	△118
中間連結損益計算書の営業利益	10,651

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,312	2,294	635	31,242	26	31,268
セグメント間の内部売上高又は振替高	190	0	-	190	151	341
計	28,503	2,294	635	31,432	177	31,610
セグメント利益又は損失(△)	7,747	384	153	8,285	△320	7,964

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。

2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,285
「その他」の区分の損失(△)	△320
中間連結損益計算書の営業利益	7,964

(重要な後発事象)

該当事項はありません。